

# 古賀市版モビリティマネジメントに関する中間報告

福岡工業大学 社会環境学部社会環境学科 2年 水谷真聰 野田皓太郎 石橋拓真 藤木翔梧 斎藤龍

## 目的

多くの地方都市では、自動車への過度の依存や公共交通の利用減が問題になっている。本調査では、福岡県古賀市での公共交通機関(バス)の利用がモビリティ・マネジメントにより増えるかどうかを実験し、古賀市が掲げる「持続可能な公共交通の実現」につながるかどうかを検証した。

## モビリティマネジメント(MM)とは

渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、過度に自動車に頼る傾向から公共交通機関や自転車などを「かしこく」使う方向へと自発的に転換することを促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組み

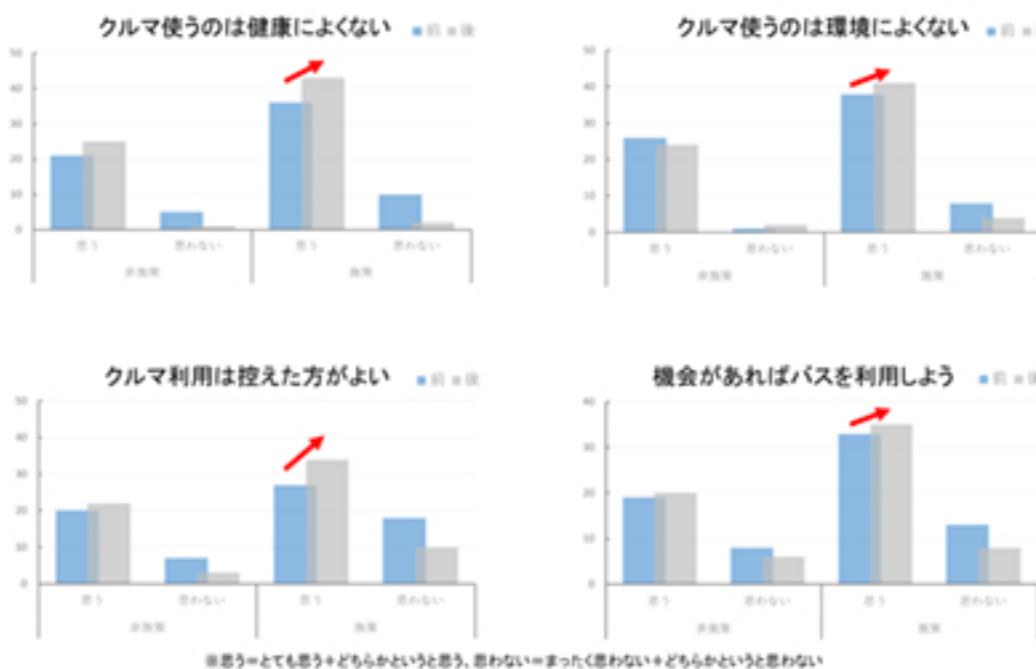
## 対象・調査方法

- 調査対象は、古賀市内の地区の中から通勤通学でバスを利用する割合や高齢化率を考慮し抽出(4地区)
- 事前アンケートの協力者(104人)をMM対象者(施策群)とMM非対象者(非施策群)に分け、MM対象者にはバス利用を促すためのツール(行動プラン票など)を郵送した
- 事後アンケートを行い、自動車やバスの利用回数、環境や健康に関する意識の変化についてMM対象者と非対象者で比較した



## 結果

ここでは、アンケート結果のうち、健康や環境に関する意識の変化について、MM非施策群と施策群の違いを示す。意識調査の結果と行動プランの利用調査は以下の通りであった。



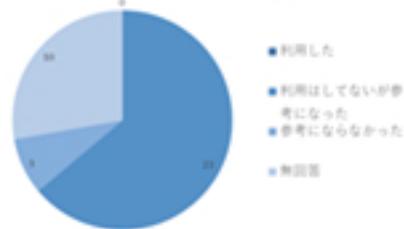
## 施策群に配布した行動プラン票

バスを利用したおすすめプランや最寄りバス停の時刻表を提供



## 行動プラン票についてのアンケート結果

行動プラン票は参考になったか？



いろんなケースで公共交通を利用する考えは良いと思う。しかし、利便性等を考えると、クルマを使用しています。  
(60代 男性)

カラーでとても見やすく、分かりやすい内容で、時間かけて作成して頂き有難く思いました。時刻表も大変助かります！  
(40代 女性)

公共交通機関を利用する考えはいいことだ！  
(60代 男性)

妻はペーパードライバーで、1台しかない車は私本人が通勤の為使用しているので、参考になった。  
(60代 男性)

プラン2は今度使ってみます！  
(60代 女性)

自由記述より抜粋

## まとめ

今回の結果から古賀市のおこなったMMの効果は、非施策群に比べて健康や環境に関する意識の改善がやや見られた。しかし、効果が小さかつた背景として古賀市の公共交通機関そのものが不便であると考えられる。また、送付した行動プラン票の利用者はいなかったが、アンケート結果の中には、具体的な意見が書かれたものがあった。そのため、古賀市の市民の公共交通機関に対する関心は高いことが見受けられる。古賀市はそれを参考に公共交通機関の利便性の向上などに取り組んでいくことで古賀市の公共交通機関に対する評価も変わってくると考えられる。今後の課題としては、自動車やバスの利用回数の変化や、地区別・年代別の分析などが挙げられる。